# 園芸科学科 四季折々　30.3.12 3.20

# 園芸科学科草花専攻生が地域貢献！

NHKのテレビ取材もありました

30万球のユリを植えます。

開花したらこんな感じ
※揖斐川町HPより

## 岐阜農林高生が球根植え付け

### 谷汲ゆり園に〝助っ人〟

### 人手不足で運営協力

スタッフ高齢化

揖斐川町谷汲大洞で地元住民らが造成した「谷汲ゆり園」で十二日、岐阜農林高校（北方町）の一年生十人が、六月三日の今季営業開始に向けてユリの球根を植えた。スタッフの高齢化で人手が足りず、存続も危ぶまれた中で、生徒たちがゆり園の運営に協力した。（広田和也）

球根を植える生徒たち＝揖斐川町谷汲大洞の谷汲ゆり園で

ゆり園は一地域を元気にしたい」との思いから一九九四年に開園。住民が重機でヒノキ林の山を切り開き、敷地三㌶に色とりどりのユリの球根を植えた。今では約六十種類、三十万本のユリを見ようと、県内外から年間二万人が訪れ、町有数の観光地になっている。

ところが運営に当たるスタッフの住民が高齢化している。今年は球根の植え付けに携わるスタッフが七十～八十代の三人になり、会長の山岸保明さん（七四）は「本当にやめるかやめないかの瀬戸際だった」と振り返る。

そんな中で、昨年一月に山岸さんが同校に支援を要請。同校は地域貢献と、授業では取り扱わないユリを学ぶ機会として快諾した。

この日は園芸科学科草花専攻の生徒たちが作業を手伝う。

山岸さんは「こんなにうれしいことはない。今後も運営を続けるやる気をもらった」と笑顔を見せた。

ゆり園は六月三日～一月十五日で、入園料は中学生以上五百円（障害者手帳持参で三百円）、小学生以下無料。☎町観光プラザ＝0585(55)2020

3月の中日新聞と
岐阜新聞に
掲載されました。

頑張りました！！
見に来てね！

**開園期間は6月3日～7月16日です。**
**詳しくは「谷汲ユリ園」で検索してください。**